

[ロシア語]

基礎ロシア語

授業科目概説

ロシア語の未履修者を対象として、ロシア語の基礎的運用能力をつけさせることを目的とします。文法及び読本の教材や、音声教材を多用することにより、読解力だけではなく、確実に理解されうる発音と聞き取る力、さらにロシア語の背景にある文化およびロシア語が話されている国々の内政や対外関係といった事情を理解できる力を養います。

履修方法

原則として、入学時の「初修語履修希望書」にもとづいて配属されたクラスで履修します。**4月開講の「基礎ロシア語Ⅰ」の履修を希望する者は、必ず第1回目の授業に出席してください。第1回目の授業ではロシア語の特性に関する重要な説明を行うので、履修希望者数がクラス定員を超過した場合には、第1回目の授業に出席しなかった者の履修は認められません。**

第1 Semesterに「基礎ロシア語Ⅰ」、第2 Semesterに「基礎ロシア語Ⅱ」を履修します。それぞれ週2回の授業で、連続した内容です。単位はSemester毎に各2単位が認定されます。年間を通じて連続した内容です。

また、「基礎ロシア語Ⅰ」の単位を修得した者だけが「基礎ロシア語Ⅱ」を履修できます。

【注意事項（重要！）】

(1) インターネット上において無償で閲覧できるサイトのロシア語の語彙、音韻、文法に関する情報には誤ったものが数多くありますが、当然のこととして初級・中級の学習者にはその正否の判別ができません。したがって、本学でのロシア語学習においてはロシア語の単語や文法事項をインターネット上で調べることを禁じます。

(2) 特に無償の「オンライン辞書」、「辞書アプリ」、「翻訳アプリ」の類は誤りが極めて多く、しかも単語の語形変化やそれに伴うアクセント移動といったロシア語学習において絶対必要な情報が示されていません。したがって、本学におけるロシア語の授業との関連においてこれらを用いることを禁止します。必ず露和辞典を購入し、それを使って調べてください。インターネット以外の有償の「電子辞書」の使用は禁じませんが、「紙の辞書」の方が文法説明が詳しいので後者を薦めます。

(3) 以上の理由により、**授業中にスマホを扱うことを厳禁します。本学のロシア語諸科目では板書を多く用いますが、板書は全て紙のノートに筆写してください。**なお、オンライン授業の場合でもロシア語科目は全てリアルタイムの双方向授業です。スマホでは画面が小さく板書の文字が読めないため、スマホでオンライン授業を受けることも禁止します。必ずパソコンで受講し、板書は手書きで紙のノートに筆写してください。

(4) なお、本学で開講されているロシア語諸科目は全て初修外国語であり、本学入学後に初めてロシア語を学ぶ者を主対象とする授業です。外国においてロシア語で教える学校（日本の高校以上に相当する学校）を卒業した者については国籍および民族を問わず履修を認めません。また、独学でロシア語を学んだことのある者のほか高校で外国語科目としてのロシア語を履修したことのある者については履修を認めますが、他大学においてロシア語を履修し、単位を修得したことのある者は担当教員に申し出て履修の許可を得てください。

展開ロシア語

授業科目概説

「展開ロシア語Ⅰ・Ⅱ」では、ロシア語の中級文法を学びつつロシア語の音韻及び文法に対する言語学的アプローチを学び、同時に正確な読解力を養います。また、「展開ロシア語Ⅲ」・「展開ロシア語Ⅳ」においては、中級文法を終えたのち上級文法のうち必要な項目を学び、露文原典の精読により高度な読解力を養います。対象は既修者。

履修方法

第3セメスターに「展開ロシア語Ⅰ」、第4セメスターに「展開ロシア語Ⅱ」を履修します。それぞれ週1回の授業で2単位が認定されます。

「展開ロシア語Ⅰ」、「展開ロシア語Ⅱ」は文系の学生のほか理系の学生でロシア語を継続して学びたい者を対象として実施する授業科目です。

「基礎ロシア語Ⅱ」(「基礎ロシア語Ⅱ-1」「基礎ロシア語Ⅱ-2」)の単位を修得した者だけが「展開ロシア語」を履修できます。

「展開ロシア語Ⅰ」および「展開ロシア語Ⅱ」は「文系」クラスと「理系」クラスの2クラスを開講しますが、「展開ロシア語Ⅰ」と「展開ロシア語Ⅱ」は同一クラスで履修することを原則とします。

「展開ロシア語Ⅱ」は「展開ロシア語Ⅰ」の単位を修得した者が履修することを原則としますが、「展開ロシア語Ⅰ」を履修して単位を修得できなかった場合も「展開ロシア語Ⅱ」を履修することは可とします。ただし、この場合は翌年以降に「展開ロシア語Ⅰ」を再履修する必要があります。

また、「展開ロシア語Ⅰ」、「展開ロシア語Ⅱ」のいずれかの単位を履修した者のうち、希望者は第5セメスターに「展開ロシア語Ⅲ」、第6セメスターに「展開ロシア語Ⅳ」を履修することができます。

*注意

履修カードの提出(「基礎ロシア語」及び「展開ロシア語」に共通)

「基礎ロシア語Ⅰ、基礎ロシア語Ⅱ」、「展開ロシア語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」のいずれのクラスにおいても、履修カードを担当教員に提出しなければ履修が認められません。Web履修登録だけでは履修が認められないので、特に注意してください。

履修カードは指定の日までに教室で本人が直接担当教員に提出し、履修の許可を得てください。履修カードは教室でのみ受け付けます。また、2クラス以上に重複して提出することは認めません。

注) 履修カードに関する上記扱いは新型コロナウイルス感染症発生以前の平年に適用していたものです。もし学期開始時点で感染症の伝搬が危険な状況にある場合にはロシア語科目全てについて履修カードの提出を不要とすることもあり得ます。その場合には授業担当教員から指示するので、それに従ってください。

初修語の履修について

授業クラスの人数の関係で希望の語種クラスが履修できない場合があります。担当教員の指示に従って履修クラスを決定してください。

基礎ロシア語

第1回目の授業でロシア語の特性に関する重要な説明を行います。必ず配属されたクラスの第1回目の授業に出席し、担当教員よりロシア語の特性と授業についての説明を受けた上で履修カードを提出してください。履修カードは教室でのみ受け付けます。(注:履修カードの扱いについては上の「履修カードの提出」の項とそこに付した注を参照。)

展開ロシア語

(注:履修カードの扱いについては上の「履修カードの提出」の項とそこに付した注を参照。)

特別な配慮が必要な場合

なお、視覚・聴覚などの問題で特別な配慮が必要な場合は担当教員に相談してください。

成績評価方法

ロシア語教科の成績は、「全学教育科目の成績評価等の取り扱いについて」のとおり、「成績が特に優秀であるもの」を「AA」、「成績が優秀であるもの」を「A」、「成績が良好であるもの」を「B」、「成績が可であるもの」を「C」、「成績が不可であるもの又は履修を放棄したもの」を「D」とします。

GP (AA=4、A=3、B=2、C=1、D=0) のクラス平均が 2.5 ± 0.3 となることを目安にして評価します。

再履修について

平成29年度から令和3年度までの入学者が再履修する場合は、「基礎ロシア語Ⅰ-1」及び「基礎ロシア語Ⅰ-2」として「基礎ロシア語Ⅰ」、「基礎ロシア語Ⅱ-1」及び「基礎ロシア語Ⅱ-2」として「基礎ロシア語Ⅱ」、「展開ロシア語Ⅰ-1」及び「展開ロシア語Ⅰ-2」として「展開ロシア語Ⅰ」、「展開ロシア語Ⅱ-1」及び「展開ロシア語Ⅱ-2」として「展開ロシア語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うこととなります。

平成28年度以前入学者が再履修する場合は、(旧)「基礎ロシア語Ⅰ」として同名の「基礎ロシア語Ⅰ」、(旧)「基礎ロシア語Ⅱ」として同名の「基礎ロシア語Ⅱ」を、(旧)「展開ロシア語Ⅰ」として同名の「展開ロシア語Ⅰ」、(旧)「展開ロシア語Ⅱ」として同名の「展開ロシア語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うこととなります。

再履修の場合は、「初修語履修希望書」にもとづく配属クラス指定はありません。

「基礎Ⅰ」が不合格だった場合の次年度以降における「基礎Ⅰ」と「展開Ⅰ」の同時履修、「基礎Ⅱ」が不合格だった場合の「基礎Ⅱ」と「展開Ⅱ」の同時履修等、異なるレベルの科目を同時に履修することはできません。但し、「展開Ⅰ」と「展開Ⅲ」、「展開Ⅱ」と「展開Ⅳ」の組み合わせに限って、前年度以前に「展開Ⅰ」および「展開Ⅱ」の両方を履修したが一方が不合格であったという場合にのみ、同時履修を認めます。

他組履修について

「展開ロシア語Ⅰ」および「展開ロシア語Ⅱ」については、文系学部の学生は「文系」クラスで、理系学部の学生は「理系」クラスで履修することを原則とします。

他組履修は、授業担当教員が許可した場合のみ、次の要領で認めます。

- ・文系学部2年次の学生は「文系」クラスで履修することを原則としますが、真にやむを得ないと認められる理由がある場合にのみ「理系」クラスで履修することを認めます。
- ・文系学部3年次以上の学生(再履修者を含む)については「文系」クラスで履修することを原則としますが、相当と認められる理由があれば「理系」クラスで履修することを認めます。
- ・理系学部の学生は「理系」クラスで履修することを原則としますが、相当と認められる理由があれば「文系」クラスで履修することを認めます。

複数履修について

同一名称の授業科目を複数履修することは、「展開ロシア語Ⅰ」および「展開ロシア語Ⅱ」については認めませんが、「展開ロシア語Ⅲ」および「展開ロシア語Ⅳ」については認める場合があります。但し、複数履修しようとする場合には、必ず担当教員に相談し許可を得た後、複数履修の申請を行ってください。詳細は本手引きのⅡ. 全学教育科目履修方法等の「6.複数履修について」の項を参照してください。

また、上記のこととは別に、「展開ロシア語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」のいずれについても、**正規履修者数が定員に満たない場合に限り**、既に履修済みの授業科目を単位とは無関係に聴講することは認めます。この場合には、初回授業日に(もし初回授業日に出席不可能な場合にはメールで)当該科目を聴講したい旨担当教員に申し出てください。**なお、4月入学者向け全学部対象クラスの「基礎ロシア語Ⅰ」、「基礎ロシア語Ⅱ」は原則として正規履修者以外の聴講は認めません。2年次以上の学生が新たにロシア語の学習を始めることは認めますが、その場合であっても「基礎ロシア語Ⅰ」および「基礎ロシア語Ⅱ」を正規履修してください。**

実践ロシア語Ⅰ・Ⅱについて

令和6年度には、ロシア語母語話者である教員が担当する「実践ロシア語Ⅰ・Ⅱ」を開講します。「実践ロシア語Ⅰ・Ⅱ」を履修できるのは、「基礎ロシア語Ⅰ・Ⅱ」および「展開ロシア語Ⅰ・Ⅱ」の単位を全て取得した3年次以上の学生に限ります。「基礎ロシア語Ⅰ・Ⅱ」または「展開ロシア語Ⅰ・Ⅱ」と「実践ロシア語Ⅰ・Ⅱ」の同時履修は認めません。なお、令和6年度において、「実践ロシア語Ⅰ・Ⅱ」は「共通科目類外国語群初修語(ロシア語)」ではなく、「展開科目類総合科学群カレントトピックス科目」の扱いになるので、ご注意ください。